FUJIIRYOKI

RELAX MASTER

マッサージチェア

品番：AS-F60

家庭用

医療機器認証番号：225AKBZX00056A02
類別：機械器具　77　バイブレーター
管理医療機器　一般的名称：家庭用電気マッサージ器

取扱説明書

添付文書

保証書付
裏表紙にあります

設置方法については、
8～12ページに従って
行ってください。

安全上のご注意

安全上のご注意・・・・・・・・・・・・・・・2

各部のなまえとはたらき

各部のなまえとはたらき・・・・・・・・・6

ご使用前の準備

本体と付属品・・・・・・・・・・・・・8
背パッド・枕の取り付け方・・・・・・11

毎回マッサージをはじめる前に

確認する内容・・・・・・・・・・・・・13
リクライニング･脚部の調節、収納のしかた・・14
各部の使い方・・・・・・・・・・・・・・16

マッサージの使い方

自動コースの使いかた・・・・・・・・・18
手動もみ技マッサージの使い方・・・・20
手動エアーマッサージの使い方・・・・・23
足裏ヒーターの使い方　・・・・・・・・24
途中でマッサージを変更するときは・・・25
マッサージ動作中の調節のしかた・・・26

お手入れ/Q&A/仕様/保証とアフターサービス

お手入れと保管のしかた・・・・・・・28
Q&A・・・・・・・・・・・・・・・・・・29
故障かなと思ったら・・・・・・・・・・31
保証とアフターサービス・・・・・・・32
仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・・33
保証書・・・・・・・・・・・・・・・・裏表紙

使用目的・効能または、効果

（あんま、マッサージの代用
一般家庭で使用すること）

- このたびは当社のマッサージチェアをお買い上げいただき誠にありがとうございました。
- ご使用の前に、取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- **ご使用の前に、「安全上のご注意」（2 ～ 5 ページ）を必ずお読みください。**
- お読みになった後は、いつでも見ることのできるところに必ず保管してください。
- 包装に使用しているダンボールなどは、分別のうえリサイクルにご協力をお願いします。

安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
- 表示と内容は、次のようになっています。
- いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡や重傷を負う可能性のある内容を示します。
⚠注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、* 物的損害が発生する可能性がある内容を示します。

* 物的傷害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

⃠	⃠ 記号は、禁止（してはいけないこと）を示します。 (左図は、分解禁止)
●	● 記号は、強制（必ず守ること）を示します。 （左図は、電源プラグをコンセントから抜く）

- 本取扱説明書をお読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることのできるところに、必ず保存してください。
- 本体及び付属品を廃棄するときは、地方自治体の条例または規則に従って処理してください。詳しくは、各地方自治体にお問い合わせください。

⚠ 警 告

次の人がヒーターを使用するとき、まわりの人が特に気をつける。

- お年寄り、ご病人、ご自分で操作ができない人　● 皮膚や皮膚感覚の弱い人
- 眠気を誘う薬（睡眠薬、かぜ薬など）を服用された人　● 深酒・疲労の激しい人
- 血行障害（糖尿病など）の人　● 医師より注意を受けている人
- 低温やけどや脱水症状を起こすおそれがあります。

次の人は、使用前に医師に相談する。

- ペースメーカなどの電磁障害の影響を受けやすい体内植込み型医用電気機器を使用している人
- 悪性しゅよう（腫瘍）のある人　● 心臓に障害のある人　● 妊娠中、または出産直後の人
- 糖尿病などによる高度な末梢循環障害による知覚障害のある人
- 温度感覚喪失が認められる人　● 皮膚に創傷のある人　● 安静を必要とする人
- 体温 38℃以上（有熱期）の人
  （例：急性炎症症状 [けん（倦）怠感、悪寒、血圧変動など] の強い時期。衰弱しているとき。）
- 骨粗しょう（鬆）症の人、せきつい（脊椎）を骨折している人、捻挫･肉離れなどの急性 [とう（疼）痛性] 疾患の人
- 背骨（脊椎）に異常のある人、または背骨が左右に曲がっている人
- 椎間板ヘルニア症の人
- その他、身体に特に異常を感じているときや、医療機関で治療中の人

⚠警 告

❗	**動かなくなったり異常がある場合はすぐに電源プラグを抜いて、ご購入先または当社のお客様相談窓口に点検・修理を依頼する。** 感電や漏電・ショートなどによる火災のおそれがあります。
	首周辺をマッサージするときは、もみ玉の動きに注意する。また、首の前方や過度に強いマッサージはしない。 事故やけがのおそれがあります。
	リクライニングするときや脚部を動かすときは、必ず周囲（本体の後部、前部、側部、下部など）に人やペット、物がないことを確認する。 事故やけが、家財を傷めるおそれがあります。
	リクライニングするときや脚部を動かすときは、下記のような本体の隙間に手、指、脚や頭を入れないようにする。 ● 椅子の下側　● 背もたれ部と座部、肘掛部の隙間　● 脚部と座部、肘掛部の隙間 ● 脚部の下側、脚部の裏側　● 手部と肘掛部の隙間　● 背もたれ部の後ろの隙間 事故やけがのおそれがあります。
	使用前には、必ず背パッドを上げて、背もたれ部のカバーが破れていないか確認する。またその他の部分にも破れがないか確認する。（どんなに小さな破れでも直ちに使用を中止し、電源プラグを抜き、修理を依頼してください。） カバーが破れた状態で使用すると、感電やけがのおそれがあります。
⃠	**ヒーターは長時間使用しない。また、同一箇所に長時間触れさせない。** 低温やけどを起こすおそれがあります。 比較的低い温度（40 ～ 60℃）でも、長時間皮膚の同じ箇所に触れていると、低温やけどのおそれがあります。 **低温やけどについて** ● 低温やけどは、皮膚の深部までおよび、赤い斑点や水ぶくれができているのが特徴です。 ● 万一、赤い斑点や水ぶくれができたときは、直ちに専門医の診察を受けてください。
	次の人は、使用しない。身体に異常が起こる場合があります。 医師からマッサージを禁じられている人 （例：血栓［そく（塞）栓］症、重度の動脈りゅう（瘤）、急性静脈りゅう（瘤）、各種皮膚炎および皮膚感染症（皮下組織の炎症を含む）など）
	本体（背もたれ部、脚部、手部、肩部）のカバーを故意に外したり、破いたり、切り取ったりしない。 カバーが外れたり破れた状態で使用すると、衣服や髪が巻き込まれけがのおそれがあります。
	交流 100V 以外の電源は、使用しない。　火災や感電の原因になります。
	破損している電源コードや電源プラグを使用しない。 感電やショート、火災の原因になります。破損している場合は、ご購入先または当社のお客様相談窓口に修理を依頼してください。
	電源プラグは確実に根元まで差し込み、ゴミを付着させない。 感電やショート・発火の原因になります。
	お子様やご自分で意思表示できない人には使用させない。また、幼児を近づけない。 感電やけがのおそれがあります。
	お子様を椅子の上で遊ばせたり、上に乗らせない。　故障やけがのおそれがあります。
	ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしない。　感電のおそれがあります。

安全上のご注意

⚠ 警 告

浴室など湿気の多い場所で使用したり、保管しない。
感電・火災・故障・カビの原因になります。

絶対に改造しない。また、ご自分で分解、修理をしない。
発火したり、異常動作して、けがをするおそれがあります。

⚠ 注 意

使用時間は 1 回 15 分以内にする。また、同一箇所への連続しての使用は 5 分以内にする。
長時間のご使用は筋肉や神経を痛めることがあります。
< お願い > 1 日の使用は 30 分以内にしてください。

健康な方でも下記のような人は必ず医師と相談のうえ使用する。
- 加齢により筋肉の衰えた人や痩身の人
- 骨や内臓に起因する腰痛の人
- 打ち身やねんざしやすい人
- 乗物酔いの激しい人
- 過去に心臓や内臓の手術をされた人

守らないと健康をそこなうおそれがあります。

本品の使用によって発疹、発赤、かゆみなどの症状があらわれた場合は、使用を中止し、医師に相談する。 守らないと事故や体調不良のおそれがあります。

使用後は本体の電源スイッチを「OFF」にし、電源プラグをコンセントから抜く。
お子様のいたずらなどによる事故の原因になります。

水平な場所で使用する。 故障や事故の原因になります。

操作ボタンやタイマーなどが正常に動作することを確認してから使用する。
事故やけがのおそれがあります。

しばらく使用していなかった場合、もう一度取扱説明書をよく読み、本品が正常に動作することを確認してから使用する。 事故やけがのおそれがあります。

使用前に、本体 (背もたれ部、脚部、腕部、肩部) に異物がはさまっていないか確認する。
事故やけがのおそれがあります。

脚部が完全に固定されていることを確認してから、乗り降りする。事故やけがのおそれがあります。

脚部を伸縮させるとき、伸縮部に手や脚を置かない。 事故やけがのおそれがあります。

使用中に身体に異常を感じたときや、使用しても効果があらわれない場合は、直ちに使用を中止し、医師に相談する。 守らないと事故や体調不良のおそれがあります。

もみ玉が収納位置にあることを確認してから、ゆっくり座る。 事故やけがの原因になります。

アースを確実に取り付ける。
アースを取り付けていないと、故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

停電のときは直ちに電源スイッチを「OFF」にし、電源プラグをコンセントから抜く。
再通電されたとき事故の原因になります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに先端の電源プラグを持って抜く。
感電や、ショートして発火の原因になります。

使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く。
ほこりや湿気で絶縁劣化状態になり、漏電火災の原因になります。

お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く。 感電やけがのおそれがあります。

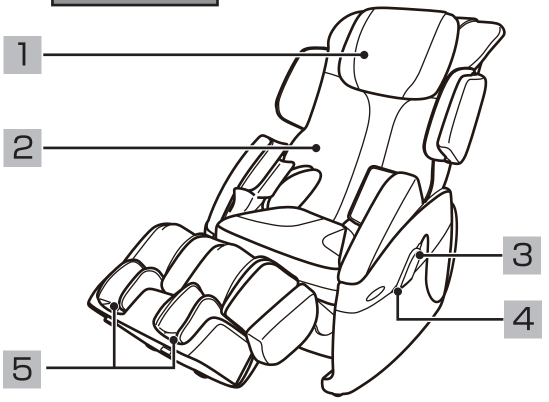
⚠ 注 意

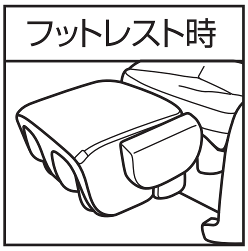
⃠	**電源コードや電源プラグを破損するようなことはしない。** ● 傷つけない　● 破損させない　● 加工しない　● 無理に曲げたり、引っ張らない ● ねじらない　● 束ねない　● 重いものを載せない　● 挟み込まない 感電や火災、故障の原因になります。
	食後すぐや、飲酒後は使用しない。　気分が悪くなったり、事故やけがのおそれがあります。
	ストーブなど火気の近くで使用したり、たばこを吸いながら使用しない。また、ホットカーペット等の暖房器具の上で使用しない。　火災の原因になります。
	背もたれ部、脚部、肩部、手部に乗ったり、座部に立ったりしない。 利用者や本体が転倒して、事故やけがのおそれがあります。
	リクライニングしているときは、脚部、座部の前の方、背もたれ部の上部に乗らない。 利用者や本体が転倒して、事故やけがのおそれがあります。
	リクライニングしているときや、脚部が上がった状態で、無理に乗り降りしたりしない。 利用者や本体が転倒して、事故やけがのおそれがあります。
	付属品以外は使用しない。　故障の原因になります。
	手や腕をマッサージをするときは、つけ爪・時計・指輪・ブレスレットなどの硬いものを装着したまま使用しない。 けがのおそれがあります。
	マッサージをするときは、ピアス・イヤリング・ネックレス・襟巻きなどの装飾品をつけたまま使用しない。 けがのおそれがあります。
	頭部に髪飾りなどの硬いものをつけて使用しない。　けがのおそれがあります。
	腰・尻・もも横をマッサージするときは、衣服（ズボンなど）のポケットに硬いものを入れたまま使用しない。　事故やけがのおそれがあります。
	素肌で使用しない。　素肌への直接のマッサージは皮膚を痛めることがあります。
	ひじ、ひざ、頭部、腹部には使用しない。また、もみ玉部に手や足をはさまない。 体調不良やけがのおそれがあります。
	マッサージ動作中に電源プラグを抜いたり、電源スイッチを「OFF」にしない。 けがのおそれがあります。
	使用中は眠らない。　無意識での使用は、体調不良やけがのおそれがあります。
	人や物を乗せて移動しない。　故障やけがのおそれがあります。
	本体に2人以上乗らない。　故障やけがのおそれがあります。
	ベンジン・シンナー・アルコールなどの薬品でふかない。　感電・引火の原因になります。
	マッサージの目的以外には使用しない。　故障や事故の原因になります。
	他の治療器を同時に使用しない。　事故や体調をくずすおそれがあります。
	木床や畳など傷つきやすい床面で、引きずったり、キャスターを使って移動しない。 床面に傷がつくおそれがあります。
	本体を倒したり、強い衝撃を与えない。　故障やけがのおそれがあります。

各部のなまえとはたらき

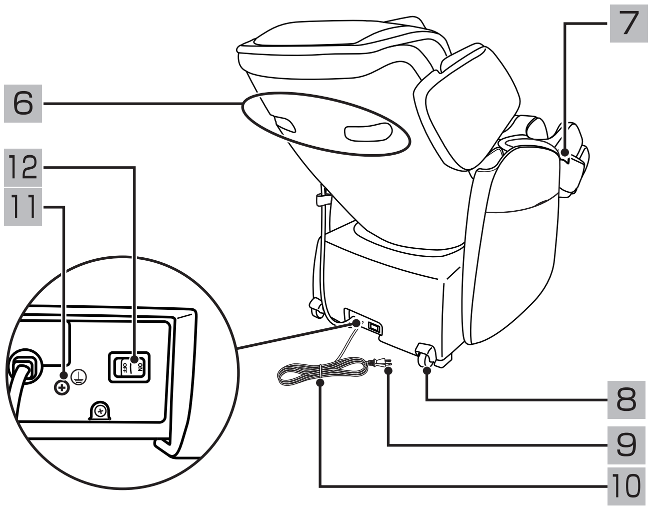
本体

前側

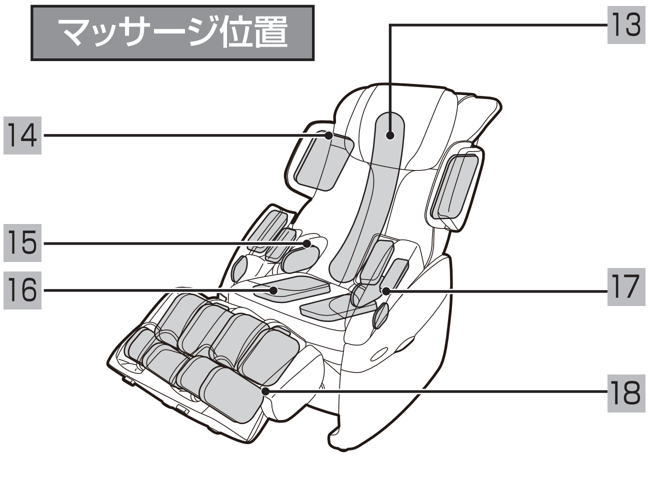




後側

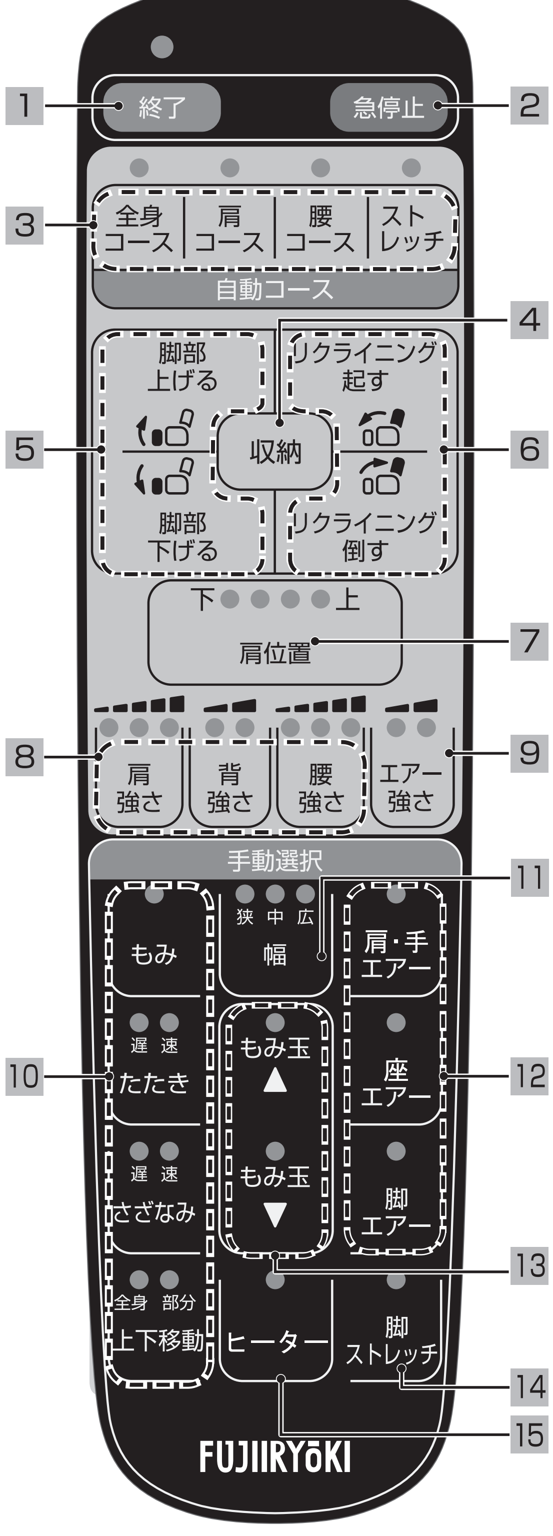


マッサージ位置



番号	名称・はたらき
	前側
1	**枕** マッサージをするときは、後ろに回してください。
2	**背パッド** この上にゆったりともたれてください。
3	**リモコン** 本体の操作を行います。
4	**リモコンポケット** リモコンを収納してください。(左右にあります。)
5	**足裏ヒーター** 足裏をあたためます。
	後側
6	**持ち手**
7	**脚部反転レバー** 脚部を反転できます。
8	**キャスター**
9	**電源プラグ**
10	**電源コード**
11	**アース端子ネジ** ※アースを取り付けてください。
12	**電源スイッチ** ご使用後は「OFF」にしてください。
	マッサージ位置
13	**メカマッサージ範囲** 首･肩から腰にかけてメカによるマッサージを行います。
14	**肩部** 肩部のエアーマッサージを行います。
15	**腰部** 腰まわり･もも横のエアーマッサージを行います。
16	**座部** 尻･もも裏のエアーマッサージを行います。
17	**手部** 手部のエアーマッサージを行います。
18	**脚部(脚もみ時)** 脚部のエアーマッサージを行います。

リモコン



名称

1 **終了ボタン**
マッサージを途中で終了します。
また、もみ玉を収納位置に移動できます。

2 **急停止ボタン**
全ての動作を停止します。
（すぐにマッサージを停止したいときに押してください。）

3 **自動コース選択ボタン**
「全身」「肩」「腰」「ストレッチ」を選択できます。

4 **収納ボタン**
脚部が下がり、リクライニングが起き上がります。

5 **脚部角度調節ボタン**
脚部の上げ下げができます。

6 **リクライニング角度調節ボタン**
背もたれ部のリクライニング角度を調節できます。

7 **肩位置調節ボタン**
肩位置の高さを調節できます。

8 **もみ強さ調節ボタン**
「肩」「背」「腰」それぞれのもみ強さを調節できます。

9 **エアー強さ調節ボタン**
エアー強さを調節できます。

10 **もみ技選択ボタン**
「もみ」「たたき」「さざなみ」「上下移動」を選択できます。

11 **もみ玉幅調節ボタン**
もみ玉の幅を選択できます。

12 **手動エアー動作選択ボタン**
「肩･手」「座」「脚」のエアー動作を選択できます。

13 **もみ玉上下ボタン**
もみ玉の位置を調節できます。

14 **脚ストレッチボタン**
脚ストレッチを入/切できます。

15 **ヒーターボタン**
ヒーターを入/切できます。

ご使用前の準備

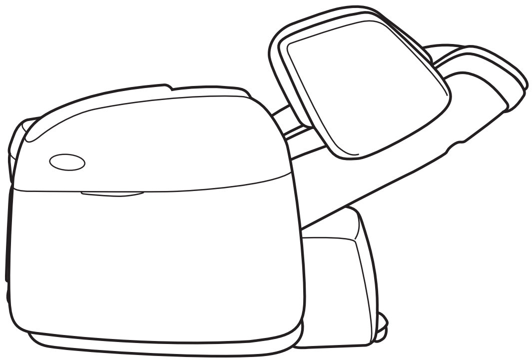
本体と付属品

⚠注意

- **付属品以外は使用しない。**
  故障の原因になります。

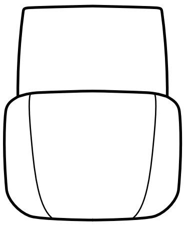
取扱説明書などの書類	
● 取扱説明書 ● カンタン操作ガイド	● 搬入チラシ ● 注意チラシ

本体

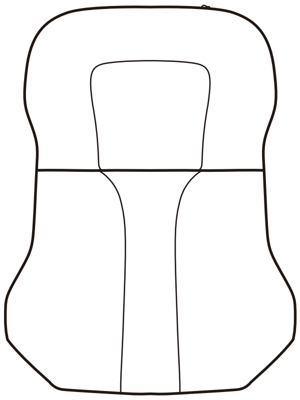


付属品

枕



背パッド



本体を設置する

⚠警告

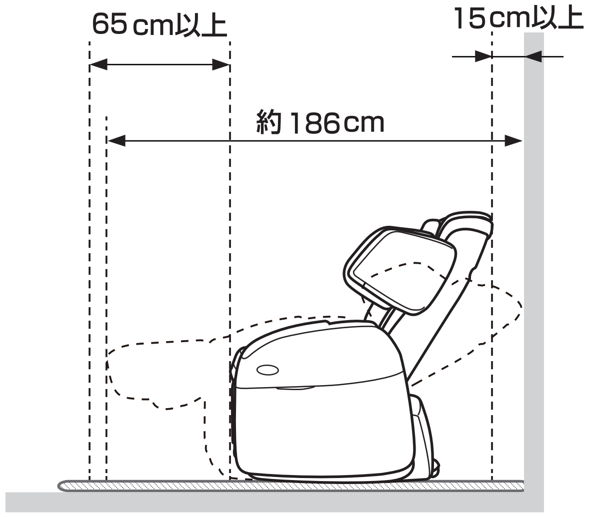
- **浴室など湿気の多い場所で使用したり、保管しない。**
  感電・火災・故障・カビの原因になります。

⚠注意

- **水平な場所で使用する。**
  故障や事故の原因になります。
- **ストーブなど火気の近くやホットカーペットなど暖房器具の上で使用ない。
  また、たばこを吸いながら使用しない。**
  火災の原因になります。

周囲にリクライニングできるスペースをあけて、水平なところに設置する。

- リクライニングしたときや脚部を出したときに周囲に当たらないようあらかじめ、前方向に65cm以上、後方向に15cm以上のスペースをあけてください。
- たたみや床を傷つけることがありますので、本体の下にマットなどを敷くことをおすすめします。
- 直射日光が毎日長時間あたるところや、暖房器具の近くなど、高温になるところへの設置は避けてください。本体や付属品が変色したり、変質するおそれがあります。



つづく

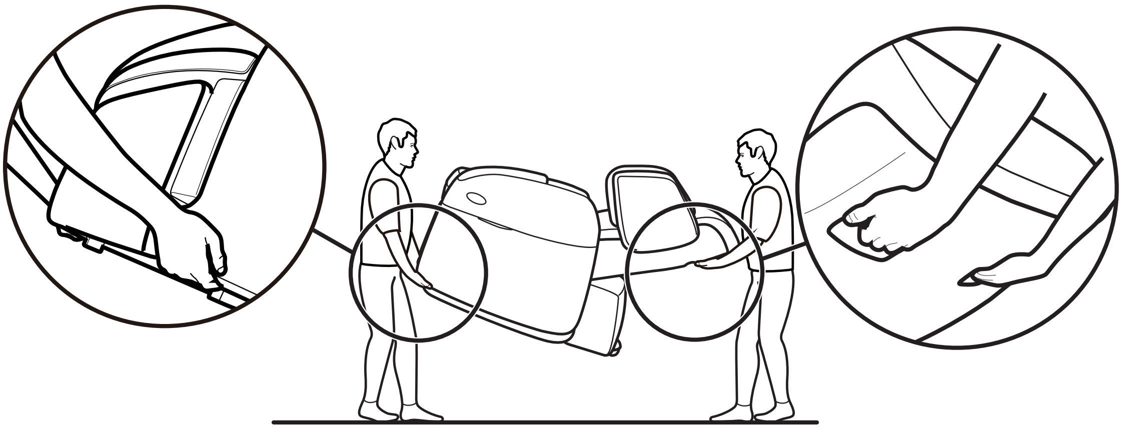
本体を設置する

⚠注意

- **人や物を乗せて移動しない。また、脚部を上げたまま移動しない。**
  故障やけがのおそれがあります。
- **木床や畳など傷つきやすい床面で、引きずったり、キャスターを使って移動をしない。**
  床面に傷がつくおそれがあります。
- **電源コードやリモコンコードを脚に引っ掛けたり、キャスターに巻き込まない。**
  けがのおそれがあります。

2人で移動させる場合

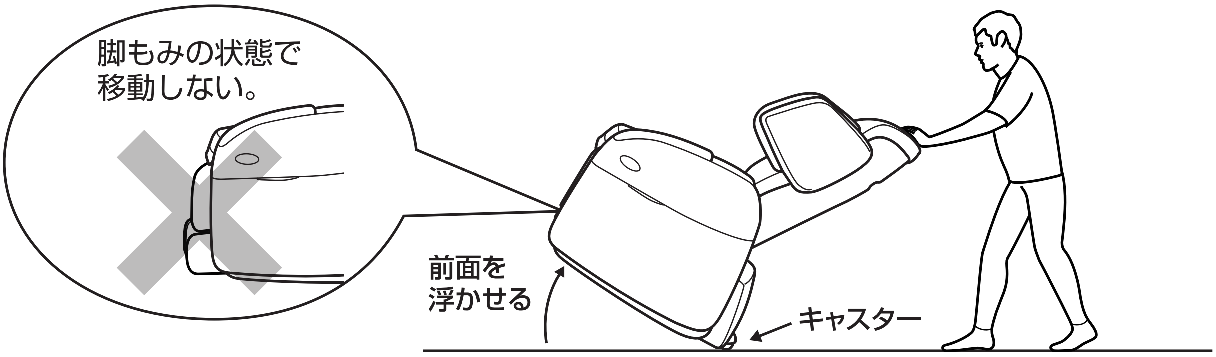
背もたれ部を倒したあと、本体前面下側と背もたれ部を持ち、移動します。



- 持ち上げて移動する場合は、必ず2人以上で運んでください。
- 座部や脚部を持って運ばないでください。故障やけがの原因になります。
- ゆっくり慎重に運んでください。
- 足元に十分注意して、ゆっくりと下ろしてください。

1人で移動させる場合

マッサージチェアを移動させる場合、脚もみの状態では移動させないでください。
故障のおそれがありますので、必ずフットレストの状態で脚部を完全に収納し、前面を浮かせて移動させてください。フットレストの反転方法については、P16 を参照ください。



- 移動させる場合は、必ず前面を上げ、キャスターを使って移動させてください。
- 前面を浮かせる際は重量があるので注意してください。
- 座部や脚部を持って運ばないでください。故障やけがの原因になります。
- 足元に十分注意して、ゆっくりと下ろしてください。
- 引きずって移動しないでください。故障の原因になります。

ご使用前の準備

アースを取り付ける

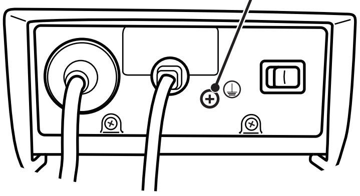
⚠注意

- **アースを確実に取り付ける。**
  故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

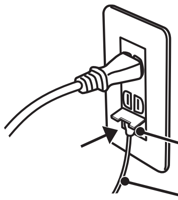
- 接続してはいけないところ
  ガス管 ……………… 爆発や引火の危険があります。
  電話線や避雷針 …… 落雷のとき危険です。
  水道管 ……………… 途中がプラスチックの場合は、アースになりません。

電源コンセントにアース端子がある場合

- アース線を本体のアース端子（ネジ）と電源コンセントのアース端子に取り付けてください。
  （アース線は付属しておりません。ご購入ください。）



本体側



電源コンセント側

電源コンセントにアース端子がない場合

- ご購入先･電気工事店に相談し、アース工事（D種〈第3 種〉接地工事･有料）をしてください。

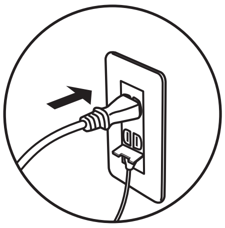
電源を入れる

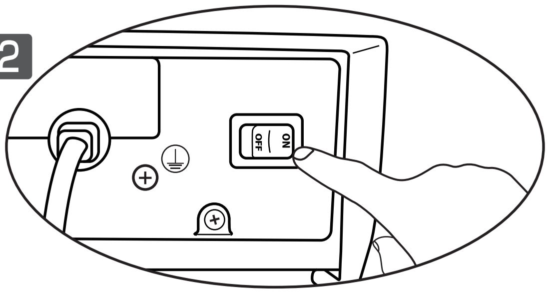
⚠警告

- **交流 100V 以外の電源は使用しない。** 火災・感電の原因になります。
- **破損している電源コードや電源プラグを使用しない。**
  感電やショート、火災の原因になります。
  破損している場合は、ご購入先または当社の「お客様相談窓口」に修理を依頼してください。
- **電源プラグは確実に根元まで差し込み、ゴミを付着させない。**
  感電・ショート・発火の原因になります。

1 電源コードの電源プラグをコンセントに差し込む。

2 電源スイッチを「ON」にする。
- 電源スイッチは本体後側の下部にあります。

1


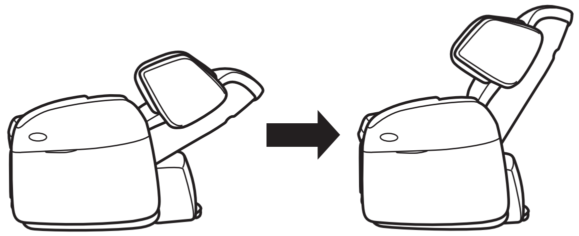
2


つづく

背もたれ部を起こす

リモコンのリクライニングの［起す］を押して、背もたれ部を起こす。

- 「リクライニング・脚部の調節、収納のしかた」に従って操作を行ってください。（▶ P14）



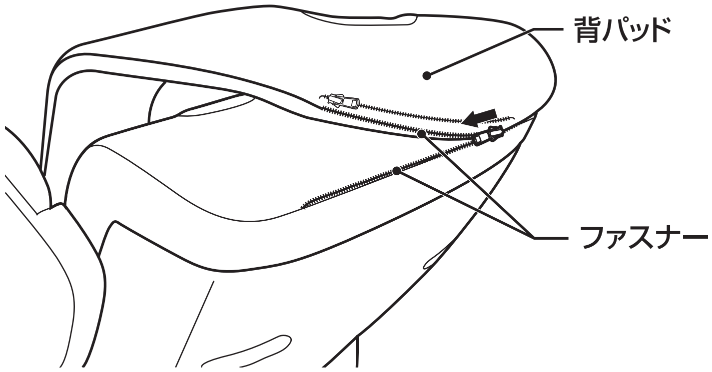
背パッド·枕の取り付け方

⚠警告

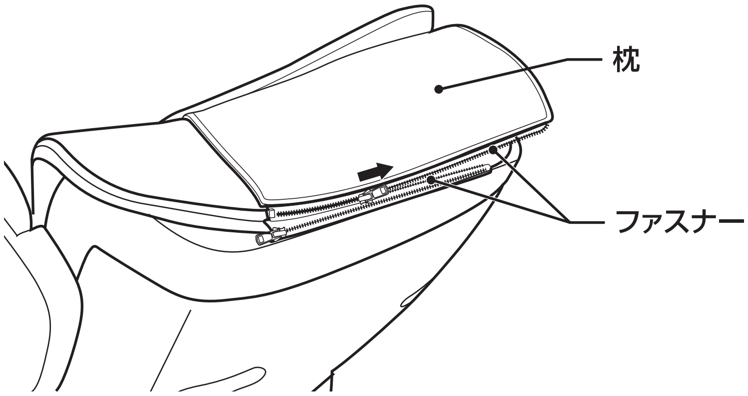
- **使用前には、必ず背パッドを上げて、背もたれ部のカバーが破れていないか確認し、その他の部分にも破れがないか確認する。**
  （小さな破れでも直ちに使用を中止し、電源プラグを抜き、修理を依頼してください。）
  カバーが破れた状態で使用すると、感電やけがのおそれがあります。

1 背パッドを背もたれ部のファスナーに取り付ける。

- マッサージを行うときは、背パッドを付けて、お使いください。



2 枕を背パッドのファスナーに取り付ける。



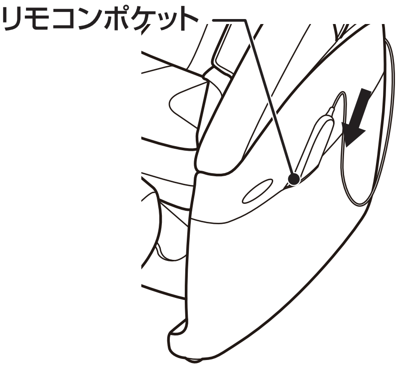
- マッサージを行うときは、背パッドを付け、枕を後に回してお使いください。
- マッサージが強く感じる場合は、枕をつけてお使いください。
- マッサージを行わない場合は、背パッド·枕を取り付けたままリクライニングチェアとしてお使いになれます。

ご使用前の準備

リモコンを収納する

左右側面にあるリモコンポケットへ、リモコンを収納する。

- リモコンポケットには、リモコン以外の物は入れないでください。リモコンが傷ついたり、布地が破れるおそれがあります。



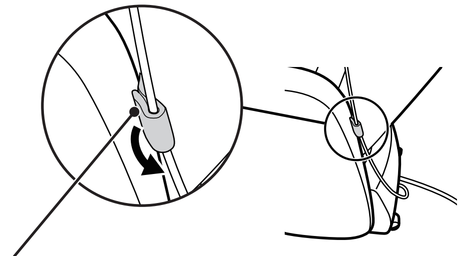
注意

- コードがたるんでいると断線のおそれがあります。

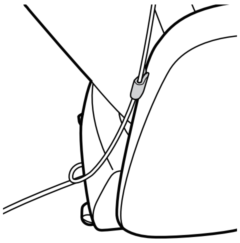
リモコンの付け替え方

左側から右側に付け替える場合

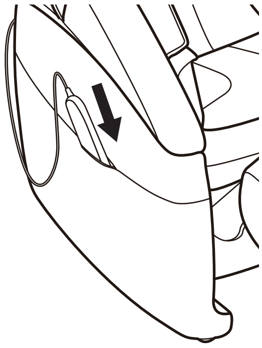
1 肘掛部後部にあるリモコンコード留め（面ファスナー）からリモコンコードをはずす。



2 リモコンコードがたるまないように反対側のリモコンコード留めで固定する。



3 右側のリモコンポケットにリモコンを収納する。



注意

- コードがたるんでいると断線のおそれがあります。

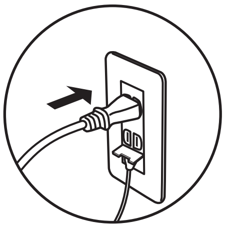
毎回マッサージをはじめる前に

電源を入れる

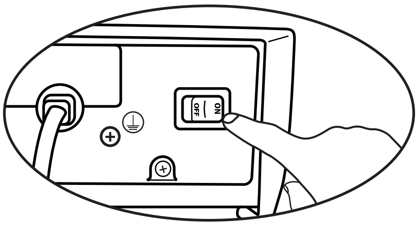
⚠警告

- **交流 100V 以外の電源は使用しない。** 火災・感電の原因になります。
- **破損している電源コードや電源プラグを使用しない。**
  感電やショート、火災の原因になります。
  破損している場合は、ご購入先または当社のお客様相談窓口に修理を依頼してください。
- **電源プラグは確実に根元まで差し込み、ゴミを付着させない。**
  感電・ショート・発火の原因になります。

1 電源コードの電源プラグをコンセントに差し込む。

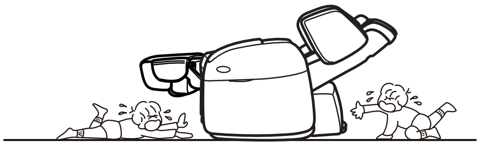
1


2 電源スイッチを「ON」にする。
- 電源スイッチは本体後側の下部にあります。

2


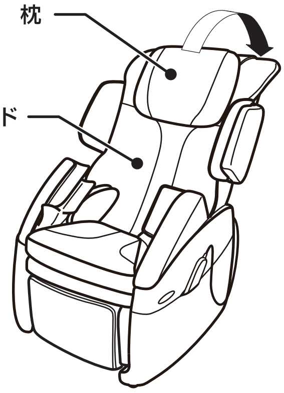
確認する内容

1 周囲を必ず確認する。
本体の後ろや脚部の前、下など、周囲に人やペットがいないこと、物がないことを確認する。



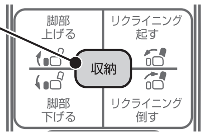
2 本体を確認する。

① 枕・背パッドを上げて背もたれ部のカバーが破れていないか確認し、その他の部分にも破れがないか確認する。
※小さな破れでも直ちに使用を中止し、電源プラグを抜き、修理を依頼してください。

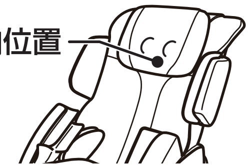


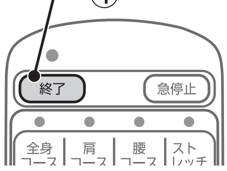
② ご使用の前に、本体 (背もたれ部、脚部、手部、肩部) に異物がはさまっていないか確認する。

③ 座る前に背もたれ部と脚部の状態を確認する。
- 背もたれ部が倒れた状態や脚部が出た状態で、無理に座ろうとすると、故障やけがをするおそれがあります。
  [収納] を長押しし、背もたれ部と脚部を収納してください。

③


④ 座る前にもみ玉の位置を確認する。
- もみ玉は通常、収納位置（背もたれの最上部）にあります。
  もみ玉が収納位置にない場合、[終了] を押すと最上部まで移動します。

収納位置


④


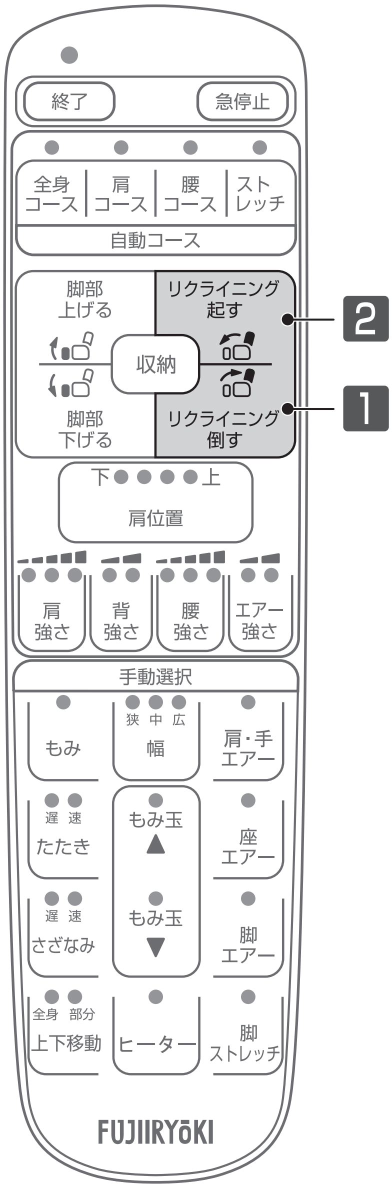
リクライニング・脚部の調節、収納のしかた

リクライニングの角度調節のしかた

⚠警告	⚠注意
● **リクライニングするときや脚部を動かすときは、必ず周囲（本体の後部、前部、側部、下部など）に人やペット、物がないことを確認する。** 事故やけがが、家財を傷めるおそれがあります。	● **リクライニングした状態や、脚部が出た状態で、無理に乗り降りしたりしない。** 故障やけがのおそれがあります。

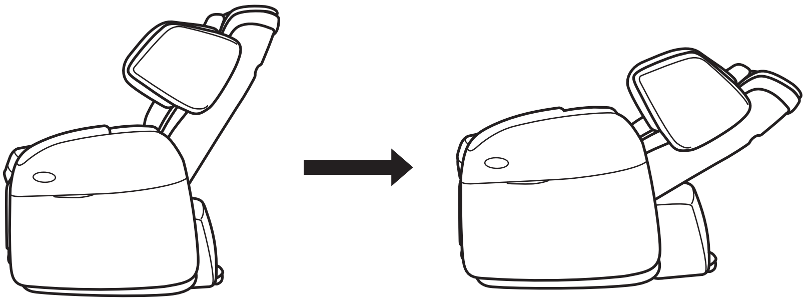
お願い

マッサージ中にリクライニングするときは、マッサージの強さを確認しながら徐々に倒してください。
マッサージ中にリクライニングすると、マッサージは一旦停止します。



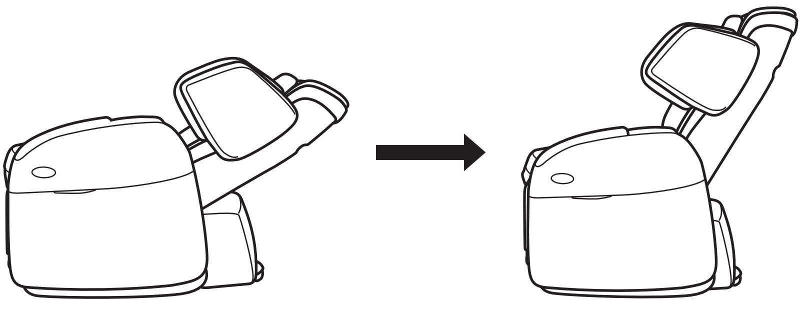
1 リクライニングを倒すときは、［倒す］を押す。

- 押し続けると背もたれ部が倒れます。
- 完全に倒れると、”ピピッ”音が鳴ります。
- 深く倒すほど、もみ玉の刺激が強くなります。
- もみ玉収納中にリクライニングさせると、収納動作が停止します。
  リクライニング終了後、もみ玉の収納動作が再開します。



2 リクライニングを起こすときは、［起す］を押す。

- 押し続けると背もたれ部が起きます。
- 完全に起きると、”ピピッ”音が鳴ります。
- もみ玉収納中にリクライニングさせると、収納動作が停止します。
  リクライニング終了後、もみ玉の収納動作が再開します。



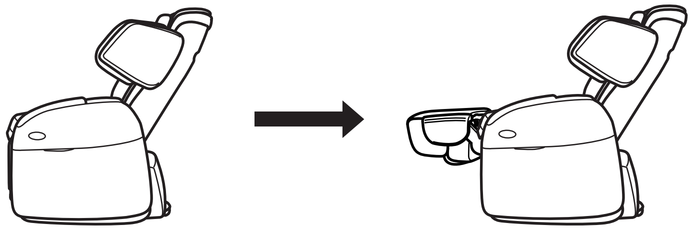
脚部の角度調節のしかた

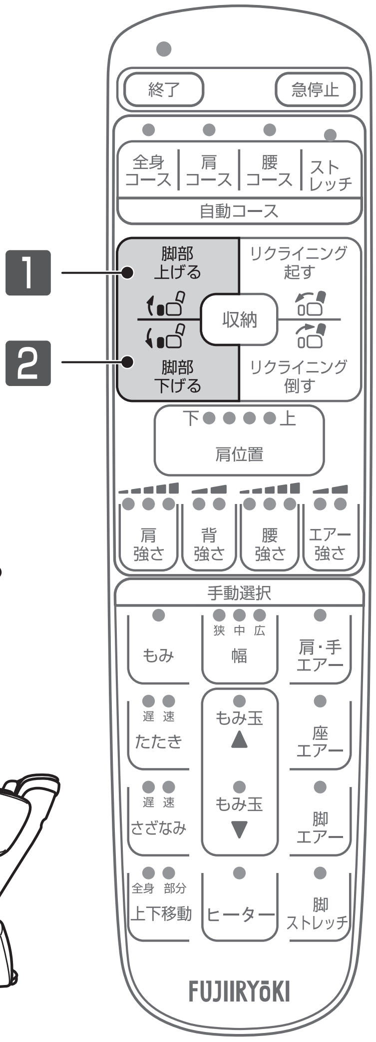
⚠注意

- **リクライニングした状態や、脚部が出た状態で、無理に乗り降りしない。**
  事故やけがのおそれがあります。
- **脚部に脚を乗せて乗り降りしない。**故障やけがのおそれがあります。

1 脚部を使用するときは、
上げる を押して、脚部を上げる。

- 脚部が完全に上がると、”ピピッ”音が鳴ります。

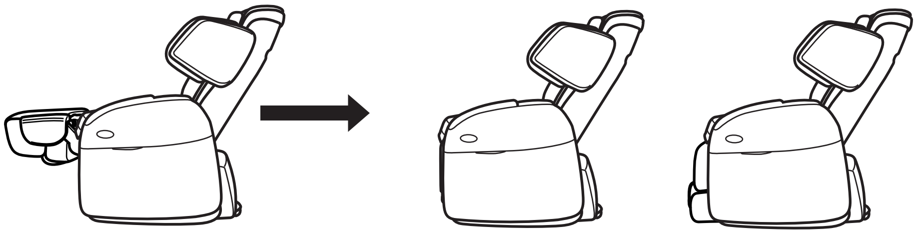




2 脚部を下げるときは、 下げる を押す。
脚部を収納させるときは 下げる を長押しする。

- 収納するときは、必ず脚部から脚を出してください。
- 脚部が収納されると、”ピピッ”音が鳴ります。

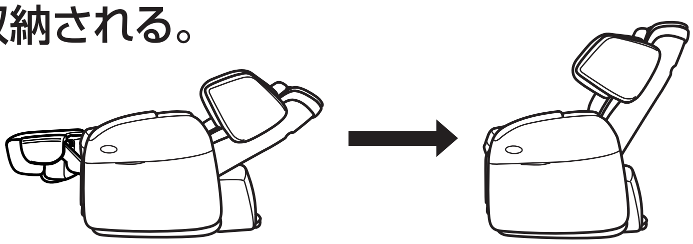
※フットレスト時のみ完全に収納することができます。

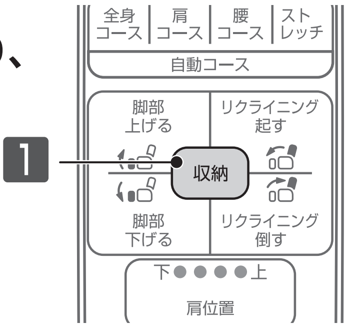


フットレスト時　　脚もみ時

脚部と背もたれ部の一括収納のしかた

1 収納 を長押しすると、背もたれ部が起き上がり、脚部が収納される。





各部の使い方

⚠警告

- 脚部を動かすときは、下記のような本体の隙間に手、指、脚や頭を入れないようにする。
  - 椅子の下側
  - 脚部と座部、肘掛部の隙間
  - 脚部の下側、脚部の裏側

故障やけがのおそれがあります。

⚠注意

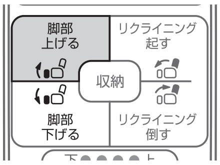
- 脚部の上に乗ったり、座ったりしない。

故障やけがのおそれがあります。

脚部の回転のしかた

1 [上げる] を長押しして、脚部を完全に出します。

- 脚部が完全に出ると、”ピピッ”音が鳴ります。



2 フットレスト→脚もみへの反転方法

脚部の下部を持って（①）、脚部反転レバーを引き上げ（②）、脚部を上方向に回転させる（③）。

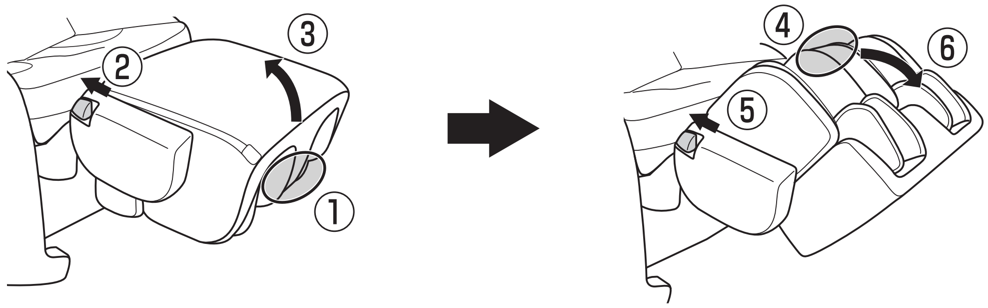
- 脚部が固定されると”カチッ”と音が鳴ります。

脚もみ→フットレストへの反転方法

脚部の上部を持って（④）、脚部反転レバーを引き上げ（⑤）、脚部を下方向に回転させる（⑥）。

- 脚部が固定されると”カチッ”と音が鳴ります。

フットレスト→脚もみ　　脚もみ→フットレスト



※必ず上図①または④を持ち、反転させてください。

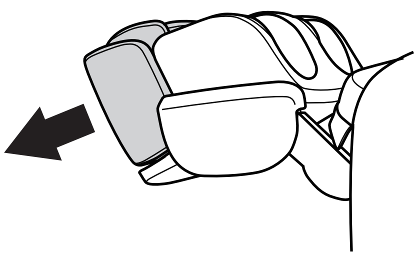
3 脚部が固定されていることを確認してからご使用ください。

※固定している状態でも、座った姿勢にしっかり合うように少し前後に回転することができます。

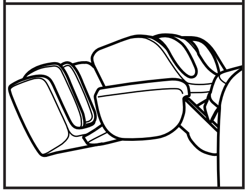
脚部の伸縮のしかた

1 足裏部を脚で押して調節する。

※脚を離すと、元の位置に戻ります。



伸ばしたとき

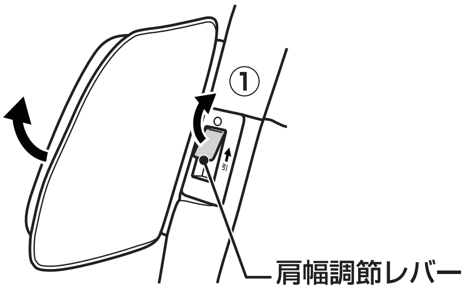


肩幅の調節のしかた

1 （肩幅の広げ方）

背もたれ部の肩幅調節レバーを引くと、ロックが外れ外側に広げることができる。

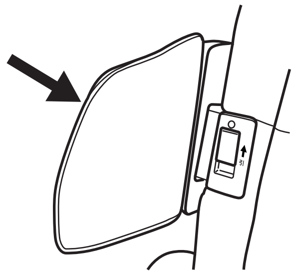
- 反対側の肩部も同じように調節してください。



2 （肩幅の狭め方）

肩部を内側に押すと「カチッ」と音が鳴り、元の位置で固定される。

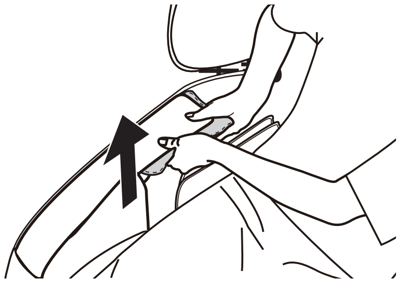
- 反対側の肩部も同じように調節してください。



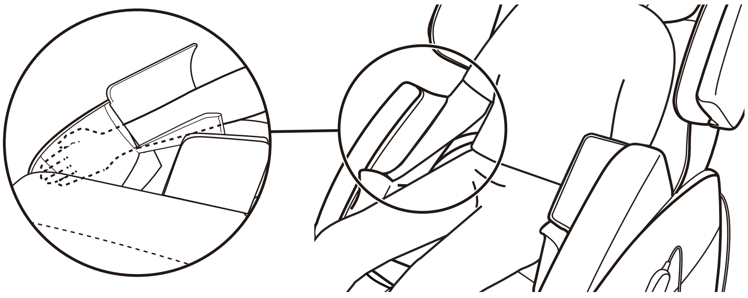
手部の使い方

1 手部の内側に手を入れて、手部を上方向に引き上げる。

- エアーバックだけを持って、引き上げないでください。

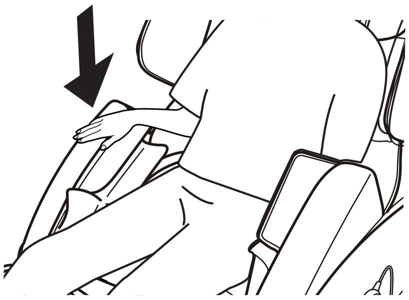


2 指を伸ばして、手を入れる。



3 手部を収納するときは、手部から腕を出し、上から押さえる。

- 手部を出したまま、立ち上がらないでください。



自動コースの使い方

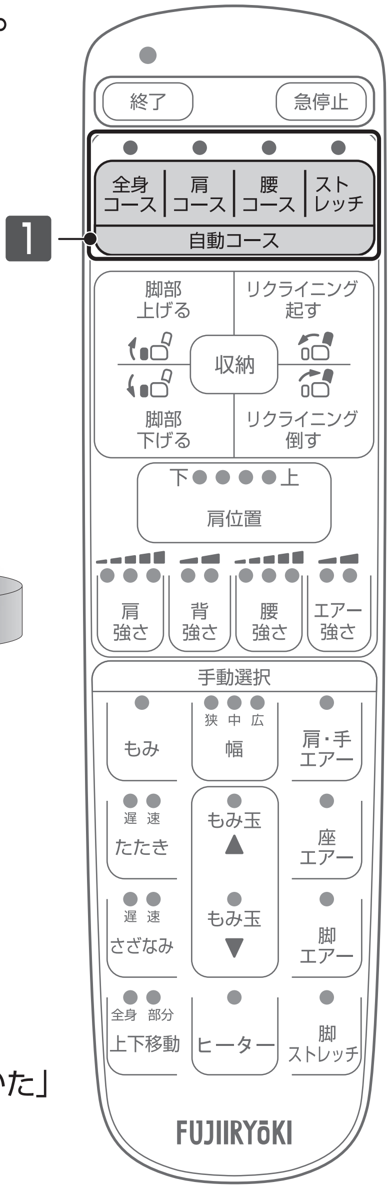
はじめに

- 椅子に腰をかけて、頭を背もたれ部につけるようにゆったりともたれてください。
- リクライニング角度を調節してください。（▶ P14 ）
- 脚部マッサージを行うときは、脚部を出してください。（▶ P15 ）

⚠ 注意

- **使用時間は 1 回 15 分以内にする。また、同一箇所への連続しての使用は 5 分以内にする。**
  長時間のご使用は筋肉や神経を痛めることがあります。
- **使用後は本体の電源スイッチを「OFF」にし、電源プラグをコンセントから抜く。**
  お子様のいたずらなどによる事故の原因になります。

1 [全身コース] [肩コース] [腰コース] [ストレッチ] からお好みのコースを選択する。



自動コースの種類

[全身コース]	全身のコリや疲れをやわらげるコースです。
[肩コース]	肩・背部のコリや疲れをやわらげる肩コースです。
[腰コース]	腰部のコリや疲れをやわらげる腰コースです。
[ストレッチ]	ストレッチ動作を中心としたマッサージコースです。

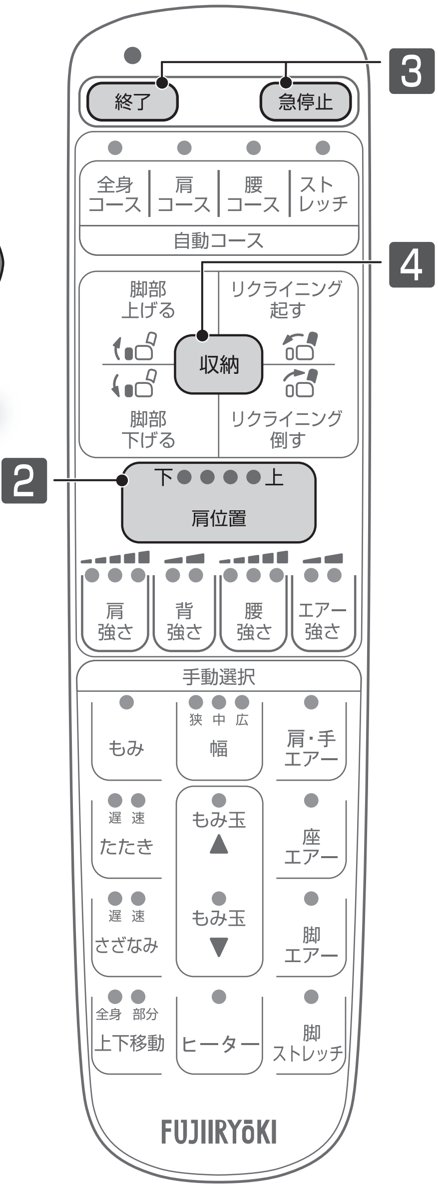
- 自動コースでは肩･手エアー、座エアー、脚エアー、（ストレッチコースのみ肩･手エアー、座エアー、脚エアー、脚ストレッチ）が「入」になります。動作を「切」にしたいときは、「マッサージ動作中の調節のしかた」を参照してください。（ ▶ P27）
- 自動コース選択時、足裏ヒーターの初期設定は「OFF」になっております。動作を「入」にしたいときは、「足裏ヒーターの使い方」を参照してください。（ ▶ P24）

2 肩位置の自動検出が開始する。

- コースを選択する前に手動で肩位置を調節している場合は、自動検出を行ないません。
- 自動検出が終わると、マッサージを開始します。
- 肩位置の手動設定を行う場合は、「マッサージ動作中の調節のしかた」を参照してください。（ ▶ P26）

肩位置の自動検出中に手動で設定する場合

肩位置の自動検出中に 肩位置 を押すと、自動検出から手動設定に切り替わります。
肩位置 で肩位置に合うようにもみ玉の位置を設定してください。
肩位置は、７段階から選択できます。



3 マッサージが始まる。

- マッサージ強さは、肩強さ「3」・背強さ「1」・腰強さ「3」・エアー強さ「1」に初期設定されています。
- メカ・エアーの強さ設定、肩位置の設定については、「マッサージ動作中の調節のしかた」を参照してください。（▶ P26）

ただちにマッサージを停止する場合

急停止 を押す。

- もみ玉は現在の位置を保ったまま停止します。

マッサージを途中で終了する場合

終了 を押す。

- もみ玉が収納位置まで移動し、終了します。

4 約15分でマッサージが終了する。

- 自動的にもみ玉が収納位置まで戻ります。
- もみ玉収納中にリクライニングすると、収納動作が停止します。
  リクライニング終了後、もみ玉の収納動作が再開します。
- もみ玉収納後、 収納 で背もたれ部を起こし、脚部を収納してください。

5 使用後は、本体の電源スイッチを「OFF」にし、電源プラグをコンセントから抜く。

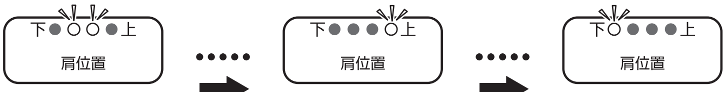
- 誤ってリモコンを操作して、動き出すことを防止します。

手動もみ技マッサージの使い方

肩位置を調節する

1 肩位置 でお好みの肩位置に調節します。

- 肩位置は、7段階から選択できます。
- ボタンを押すごとに「4」→「1」→「7」と順に切り替わります。



肩位置「4」表示（初期位置）　肩位置「1」表示　肩位置「7」表示

- 肩位置の高さが手動もみ技動作時の高さの上限になります。
- マッサージ中に「肩位置」を選択すると、マッサージが一旦停止し、もみ玉が肩位置に移動します。
- 肩位置を調節後、自動的に最終選択位置でマッサージに戻ります。
- 操作がない場合は､約７秒後にマッサージに戻ります。

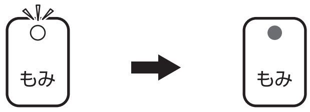
肩位置のランプ

肩位置高さ		ランプの点灯			
高	1	●	●	●	○
	2	●	●	○	○
	3	●	●	○	●
↕	4 初期位置	●	○	○	●
	5	●	○	●	●
	6	○	○	●	●
低	7	○	●	●	●

マッサージを選択する

2 もみ たたき さざなみ 上下移動 から お好みのマッサージを選択します。

①「もみ」ボタンを押すごとに「入」→「切」が切り替わります。



もみ「入」表示（初期位置）　もみ「切」表示

②「たたき」ボタンを押すごとに「速」→「遅」→「切」と順に切り替わります。

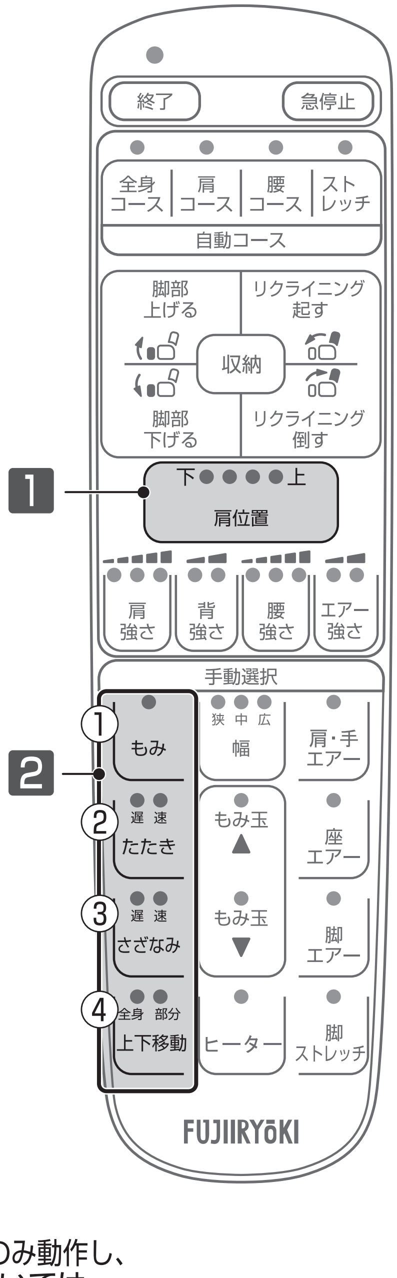
たたき「速」表示（初期位置）　たたき「遅」表示　たたき「切」表示

③「さざなみ」ボタンを押すごとに「速」→「遅」→「切」と順に切り替わります。

さざなみ「速」表示（初期位置）　さざなみ「遅」表示　さざなみ「切」表示

④「上下移動」ボタンを押すごとに「全身」→「部分」→「切」が切り替わります。

上下移動「全身」表示（初期位置）　上下移動「部分」表示　上下移動「切」表示



- 肩･手エアーが｢入｣の状態で｢たたき｣｢さざなみ｣を｢入｣にすると､手エアーのみ動作し､肩エアーは動作しません｡設定できるマッサージの組み合わせについては､｢マッサージの組み合わせと調節｣を参照してください｡(▶ P22)

つづく

もみ玉幅を選択する

3 [幅] でお好みのもみ玉幅に調節します。

- 「幅」ボタンを押すごとに「広」→「中」→「狭」が切り替わります。
- 「たたき」「上下移動」動作時に調節できます。

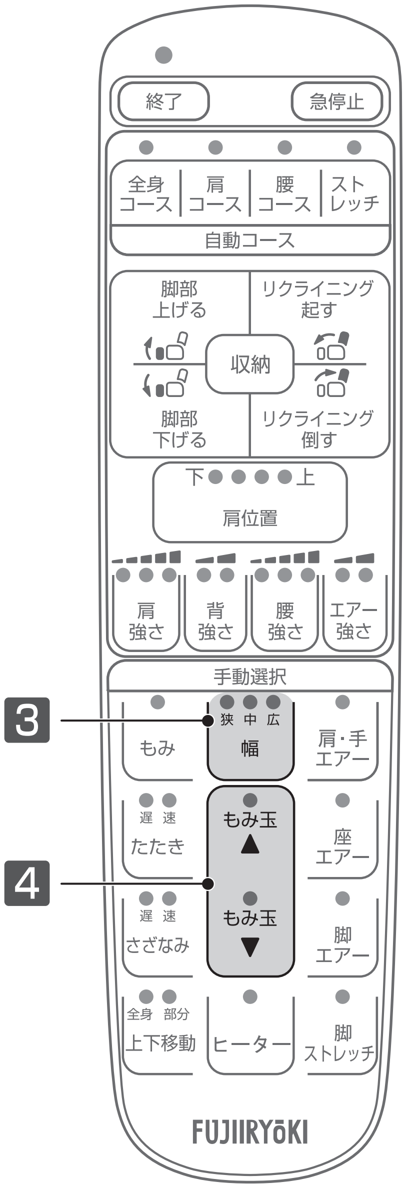
もみ玉幅「広」表示（初期位置）　もみ玉幅「中」表示　もみ玉幅「狭」表示

もみ玉の位置を調節する

4 [もみ玉▲] [もみ玉▼] でもみ玉をお好みの高さに調節します。

[もみ玉▲] を長押しするともみ玉が上がり、

[もみ玉▼] を長押しするともみ玉が下がります。



設定できるマッサージの組み合わせについては、
「マッサージの組み合わせと調節」を参照してください。（▶ P22）

手動もみ技マッサージの使い方

もみ技の種類

- 〔もみ〕 筋肉をもみほぐします。
- 〔遅 速 たたき〕 リズミカルな連打で筋肉の疲れをとります。
- 〔遅 速 さざなみ〕 もみながらたたく動きで疲労を和らげます。

単独で選択すると、ポイントでマッサージします。

- 〔全身 部分 上下移動〕 背筋に沿って背中全体を伸ばします。
- 〔全身 部分 上下移動〕 背中を部分的に伸ばします。

「もみ」「たたき」「さざなみ」と複合すると、マッサージ範囲の調節が選択できます。

マッサージの組み合わせと調節

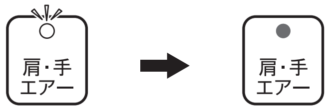
マッサージの組み合わせ		もみ玉	
		幅調節	位置調節
単独動作	〔もみ〕 または 〔遅 速 さざなみ〕		●
	〔全身 部分 上下移動〕	●	
	〔遅 速 たたき〕 または 〔全身 部分 上下移動〕	●	●
複合動作	〔もみ〕 または 〔遅 速 さざなみ〕 ＋ 〔全身 部分 上下移動〕		
	〔もみ〕 または 〔遅 速 さざなみ〕 ＋ 〔全身 部分 上下移動〕		●
	〔遅 速 たたき〕 ＋ 〔全身 部分 上下移動〕	●	
	〔遅 速 たたき〕 ＋ 〔全身 部分 上下移動〕	●	●

手動エアーマッサージの使い方

肩･手エアーを「入/切」したいとき

1 肩･手エアー を押します。

- ボタンを押すごとに「入」→「切」と切り替わります。
- 肩･手エアーが「入」の状態で「たたき」「さざなみ」を「入」にすると、手エアーのみ動作し、肩エアーは動作しません。

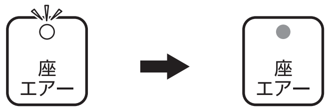


肩･手エアー「入」表示　　肩･手エアー「切」表示

座エアーを「入/切」したいとき

2 座エアー を押します。

- ボタンを押すごとに「入」→「切」と切り替わります。



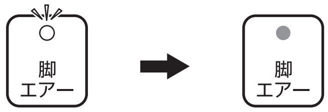
座エアー「入」表示　　座エアー「切」表示

脚エアーを「入/切」したいとき

3 脚エアー を押します。

- ボタンを押すごとに「入」→「切」と切り替わります。
- 脚ストレッチが「入」の状態で脚エアーを「切」にすると、脚ストレッチも同時に「切」に切り替わります。

※フットレストの状態でも脚エアーは動作します。



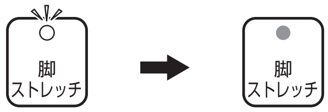
脚エアー「入」表示　　脚エアー「切」表示

脚ストレッチを「入/切」したいとき

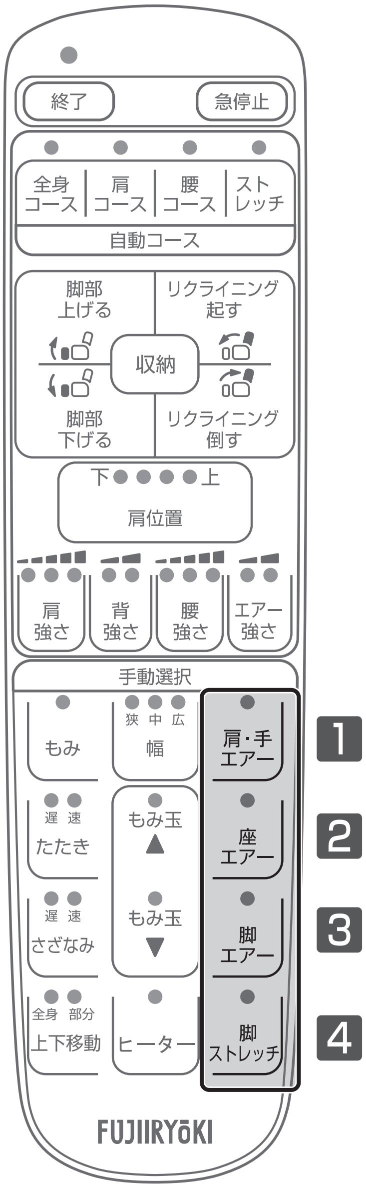
4 脚ストレッチ を押します。

- ボタンを押すごとに「入」→「切」と切り替わります。
- 脚ストレッチが「入」の状態で脚エアーを「切」にすると、脚ストレッチも同時に「切」に切り替わります。

※ フットレストの状態でも脚ストレッチは動作します。



脚ストレッチ「入」表示　　脚ストレッチ「切」表示



足裏ヒーターの使いかた

⚠ 警告

ヒーターは長時間使用しない。また、同一箇所に長時間触れさせない。

低温やけどを起こすおそれがあります。

比較的低い温度（40 ～ 60℃）でも、長時間皮膚の同じ箇所に触れていると、低温やけどのおそれがあります。

低温やけどについて

- 低温やけどは、皮膚の深部までおよび、赤い斑点や水ぶくれができているのが特徴です。
- 万一、赤い斑点や水ぶくれができたときは、直ちに専門医の診察を受けてください。

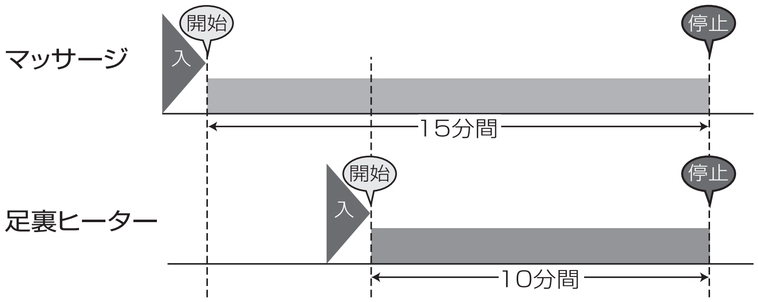
● 足裏ヒーターは、脚エアー動作中にのみ設定できます。

（脚エアーの使い方については、「マッサージ動作中の調節のしかた」を参照してください。（▶ P27））

[ヒーター] で足裏ヒーターの「入/切」を選択します。

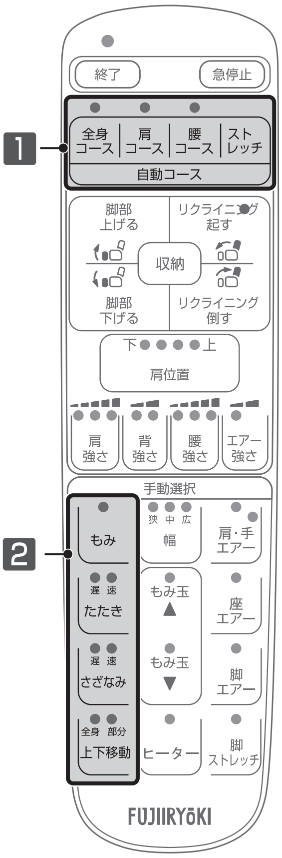
- 足裏ヒーターはマッサージ動作が終了したときに、同時に動作が終了します。
- 脚エアーを「切」にすると自動的に足裏ヒーターも「切」になります。
- マッサージ開始時、足裏ヒーターの初期設定は「OFF」になっております。

[マッサージ動作中に足裏ヒーター動作を選択した場合のタイマー動作]



途中でマッサージを変更するときは

● マッサージ動作中でも、ほかの動作に
切り替えることができます。



自動コース ▶ ほかの自動コースへの変更

もみ技マッサージ ▶ 各自動コースへの変更

1 使用したい自動コースのボタンを押します。

● 選択された自動コースに変更されて動作します。
詳細は、「自動コースの使い方」を参照してください。
（▶P18）

● タイマーのカウントは継続されます。

自動コース ▶ 各手動マッサージへの変更

もみ技マッサージ ▶ ほかのもみ技マッサージへの変更

2 使用したいもみ技マッサージを選択します。

● 選択されたもみ技マッサージに変更されて動作します。
詳細は、「手動もみ技マッサージの使い方」をご確認ください。
（▶P20）

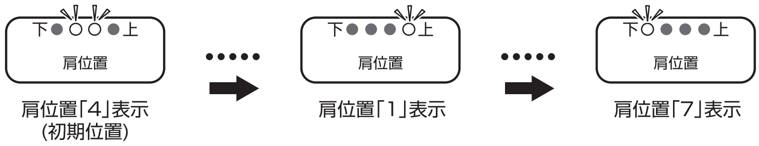
● タイマーのカウントは継続されます。

マッサージ動作中の調節のしかた

マッサージ中に肩位置を調節したいとき

1 肩位置 でお好みの肩位置に調節します。

- 肩位置は、7段階から選択できます。
- ボタンを押すごとに「4」→「1」→「7」と順に切り替わります。



- マッサージ中に「肩位置」を選択すると、マッサージが一旦停止し、もみ玉が肩位置に移動します。
- 肩位置を調節後、自動的に最終選択位置でマッサージに戻ります。
- 操作がない場合は､約７秒後にマッサージに戻ります。

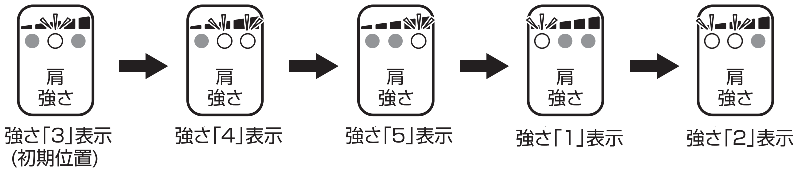
肩位置のランプ

肩位置高さ		ランプの点灯
上 (高い)	1	●●●○
	2	●●○○
	3	●●○●
	4 初期位置	●○○●
	5	●○●●
下 (低い)	6	○○●●
	7	○●●●

肩のマッサージ強さを調節したいとき

2 肩強さ でお好みの強さに調節します。

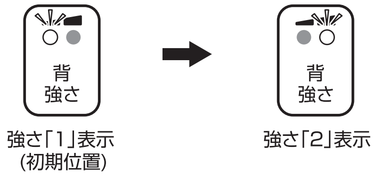
- 肩強さは５段階から調節できます。
- ボタンを押すごとに「3」→「4」→「5」→「1」→「2」と順に切り替わります。



背のマッサージ強さを調節したいとき

3 背強さ でお好みの強さに調節します。

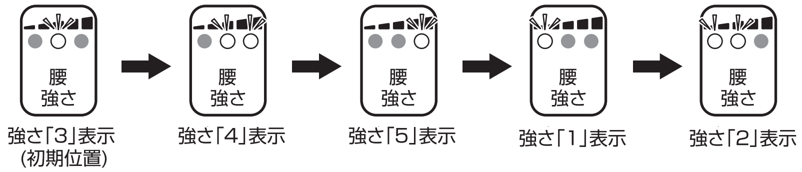
- 背強さは2段階から調節できます。
- ボタンを押すごとに「1」→「2」と順に切り替わります。

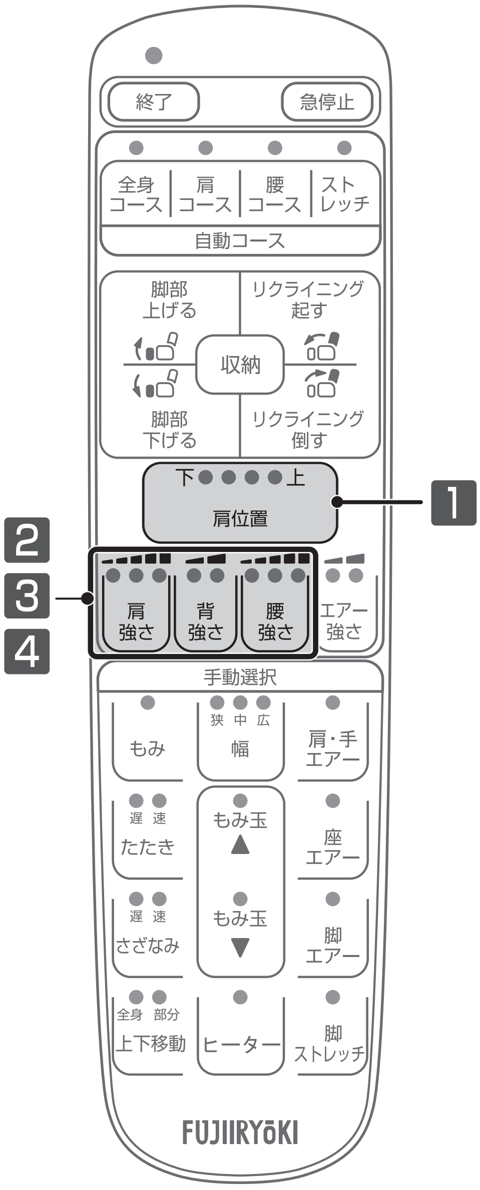


腰のマッサージ強さを調節したいとき

4 腰強さ でお好みの強さに調節します。

- 腰強さは５段階から調節できます。
- ボタンを押すごとに「3」→「4」→「5」→「1」→「2」と順に切り替わります。

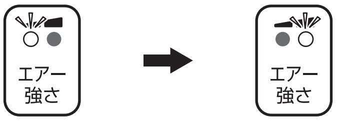




エアー強さを調節したいとき

5 【エアー強さ】でお好みのエアー強さに調節します。

- エアー強さは2段階から調節できます。
- ボタンを押すごとに「1」→「2」と順に切り替わります。
- エアーの強さ調節は部位ごとに調節はできません。



強さ「1」表示（初期位置）　→　強さ「2」表示

強さのランプ

強さ		ランプの点灯 5段階（肩･腰）	2段階（背･エアー）
弱	1	○●●	○●
	2	○○●	●○
	3	●○●	
	4	●○○	
強	5	●●○	

肩･手エアーを「入/切」したいとき

6 【肩･手エアー】を押します。

- ボタンを押すごとに「入」→「切」と切り替わります。
- 肩･手エアーが「入」の状態で「たたき」「さざなみ」を「入」にすると、手エアーのみ動作し、肩エアーは動作しません。

座エアーを「入/切」したいとき

7 【座エアー】を押します。

- ボタンを押すごとに「入」→「切」と切り替わります。

脚エアーを「入/切」したいとき

8 【脚エアー】を押します。

- ボタンを押すごとに「入」→「切」と切り替わります。
- 脚ストレッチが「入」の状態で脚エアーを「切」にすると、脚ストレッチも同時に「切」に切り替わります。

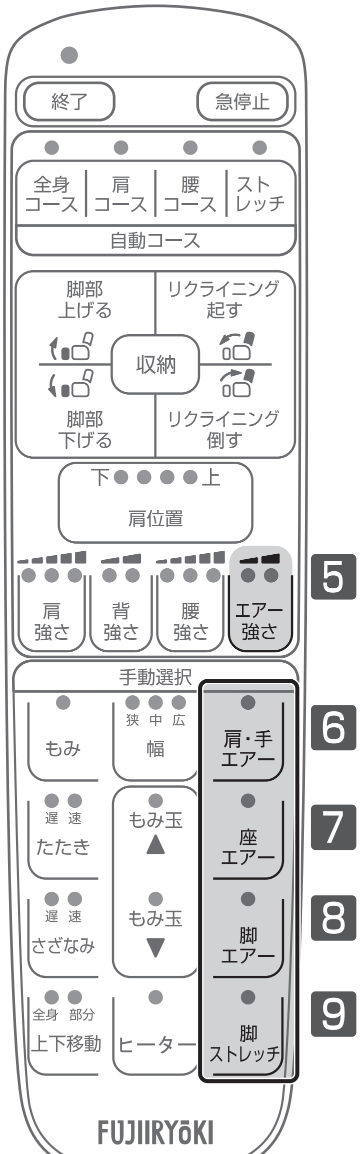
※フットレストの状態でも脚エアーは動作します。

脚ストレッチを「入/切」したいとき

9 【脚ストレッチ】を押します。

- ボタンを押すごとに「入」→「切」と切り替わります。
- 脚ストレッチが「入」の状態で脚エアーを「切」にすると、脚ストレッチも同時に「切」に切り替わります。

※ フットレストの状態でも脚ストレッチは動作します。



お手入れと保管のしかた

⚠注意

- お手入れの際は必ず電源コードの電源プラグをコンセントから抜く。
  また、濡れた手で抜き差ししない。　感電やけがのおそれがあります。
- ベンジン・シンナー・アルコールなどでふいたり、薬剤を含んだスプレーをかけない。
  感電・引火の原因になります。

本体：張地（PU レザー）

お願い　張地部分のお手入れは、水に薄めた中性洗剤を含ませて固く絞った布でふいた後、水を含ませて固く絞った布でふき取り、乾いた布でふいてから自然乾燥させてください。
（使い過ぎると張地を傷めることがあります。）

お願い　本体は清潔にし、温度・湿気・ほこりなどの悪影響が少ないところに保管してください。

樹脂部

樹脂部の汚れは、水に薄めた中性洗剤を含ませて固く絞った布でふき取り、洗剤が残らないように乾いた布でよくふき取ってください。

注意

ベンジン・シンナー・アルコール、その他の溶剤やみがき粉などは使用しない。
キズ、変色、ひび割れの原因になります。

リモコン

リモコンの汚れは、乾いた布でふき取ってください。

注意

絶対に濡れたタオルなどでふかない。
故障の原因になります。

背パッド・枕・座・その他の生地

汚れが付いたときは、水に薄めた中性洗剤を含ませて固く絞った布でふいた後、水を含ませて固く絞った布でふき取り、乾いた布でふいて自然乾燥させてください。

注意

- アイロンがけはしない。
  生地を傷めるおそれがあります。
- ベンジン・シンナー・アルコールなどでふいたり、薬剤を含んだスプレーをかけない。
  生地を傷めるおそれがあります。

保管のしかた

⚠注意

- 浴室など湿気の多い場所で使用したり､保管しない。　感電・火災・故障・カビの原因になります。

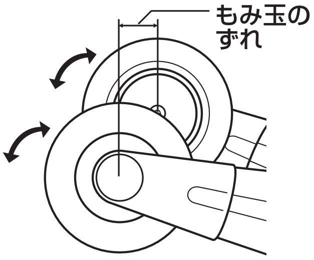
本体は汚れやほこりを取った後、温度・湿気・ほこりなどの悪影響が少ないところに保管してください。
長い間使用されない場合は、カバーなどをかけてほこりが付かないようにしてください。

- 直射日光が長時間当たる所、ストーブなどの近くの高温になる所には保管しないでください。
  変色・変質の原因になります。

Q&A

Q1 左右の強さが異なる。また、段違いに感じる。

A より気持ちよくマッサージするために、もみ玉が交互にたたく機構を採用している関係で、やむをえずもみ玉の位置がずれて動作することがあります。



そのため左右で強さが異なって感じることがありますが、故障ではありません。

Q2 マッサージをより強くする方法はありますか？

A 次のことを試してください。

- 背もたれ部を倒す。
- 深く腰かけ、体をしっかりと背もたれ部に密着させる。
- 背パッドを外す。

Q3 マッサージを弱くする方法はありますか？

A 次のことを試してください。

- 背もたれ部を起す。
- 背パッド・枕をつける。
- 背もたれ部にひざ掛けや毛布などを掛ける。

Q4 病院に通院しているけど、使ってもだいじょうぶ？

A 通院先の医師とご相談のうえ、使用してください。マッサージは、「触圧刺激」といって、筋肉に圧力をかけてほぐし、血行を促進する行為です。病気によっては悪化を招く可能性もありますので、必ず医師に相談してください。

Q5 1ヶ月の電気代はいくらですか?

A 1日30分（15分×２回）でマッサージを毎日使用した場合、約40円/月です。
電気料金目安単価：22円/kWh（税込み）で算出。（2013年10月現在、当社調べ）

Q6 ホットカーペットを椅子の下に敷いてもいいですか?

A 火災のおそれがあるので、おやめください。ホットカーペットの発熱体を痛め、そこから火災になるおそれがあります。

Q7 肩位置の自動検出をしても肩位置が合わないのですが？

A 自動検出後の肩位置が合わない場合は、肩位置調節をしてください。（ ▶ P26）
※手動もみ技マッサージでは、肩位置の自動検出は行ないません。

Q8 身長が約150cm未満の人や、約185cm以上の人は使えないのですか?（脚部に脚がフィットしないなど）

A 背もたれ部の角度と脚部の長さを調節してください。（ ▶ P14、16）

- 背の低い人
  背もたれ部を起こし、脚部を上げる。
- 背の高い人
  背もたれ部を倒し、脚部を下げる。

Q9 肩･手エアーマッサージの後、肩や手が赤くなるのですが?

A 使用後、肩や手にマッサージの跡が残る場合があります。これは、マッサージによるもので、時間とともに消えていきます。
また、肩エアーマッサージを行う場合は、肩が露出した服装はお避けください。

Q10 脚部が完全に収納しないのですが?

A フットレストの状態のときのみ、完全に収納します。
（ ▶ P15）

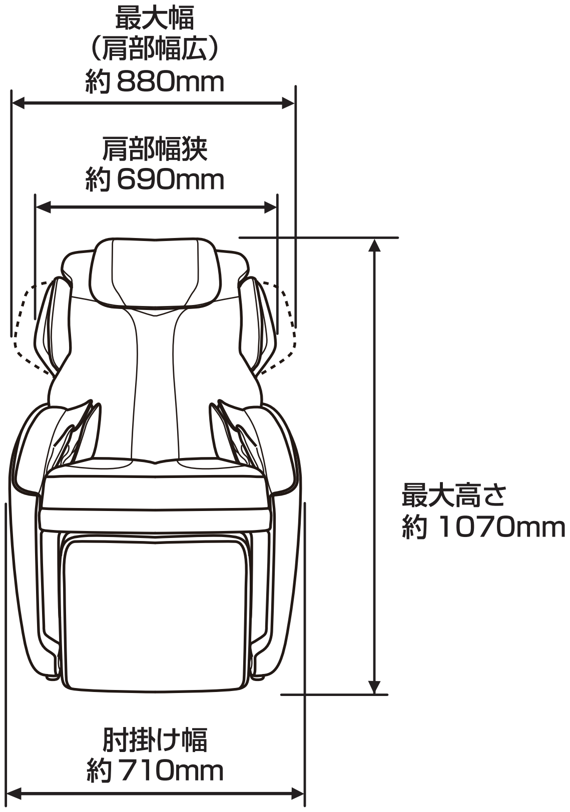
Q11 マッサージ動作中、肩･手エアーを「入」にしているのですが肩エアー（または手エアー）が動作しないのですが?

A ストレッチコースの際、肩･手エアーのランプが点灯し、肩エアー動作は行ないますが、手エアー動作は行ないません。
また、手動もみ技の「たたき」または「さざなみ」を動作中に「肩･手エアー」を選択すると、肩･手エアーのランプが点灯し、手エアー動作は行ないますが、肩エアー動作は行ないません。

Q12 本体の寸法を教えてください。

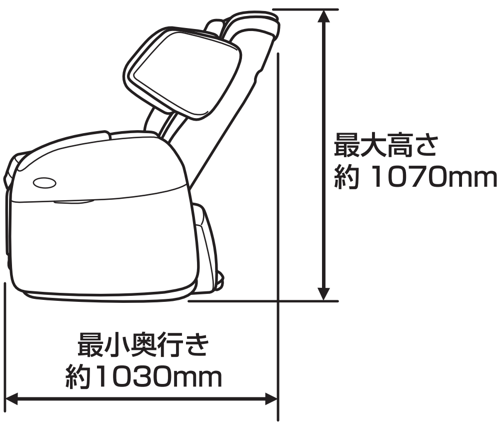
A 下記の図をご参照ください。

正面

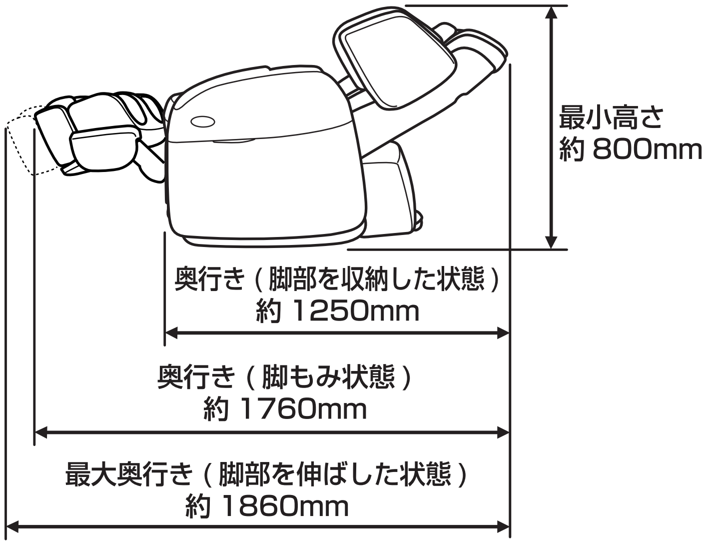


側面

リクライニングしていないとき



リクライニングしているとき



故障かなと思ったら

⚠警告

- **絶対に改造しない。また、ご自分で分解、修理をしない。**
  発火したり、異常動作して、けがをするおそれがあります。

ご使用中に下記のような音や感覚がありますが、構造上のもので異常ではなく寿命などに影響はありません。

- もみ玉上下移動時のカタカタ音
- マッサージ動作時のギア・モーターの音
- もみ玉と布のすれる音（特に、もみ動作時）
- たたき、さざなみ動作時のカタカタ音
- もみ、たたき、さざなみ動作時に、もみ玉への力の加わり方によっては、マッサージ動作スピードが変わる場合があります
- 「速さ」調節による音の違い
- 負荷をかけた時のモーターのうなり音
- エアー動作時のコンプレッサーの動作音ならびにエアーの排気音
- エアーバッグが膨らむときに出る音
- 「肩」使用時のキシミ音
- リクライニング時の背もたれ部や座部のこすれ音（キュー音）
- 左右のもみ玉の高さが異なる
  （交互たたき機構を採用しているため、やむをえず発生するもので故障ではありません。）

こんなときは	ここを点検してください	対応のしかた	参考ページ
動作しない	電源コードの電源プラグが抜けていませんか？	電源コードの電源プラグをコンセントに差し込んでください。	P10、13
	本体後側の下部にある電源スイッチが「OFF」になっていませんか？	電源スイッチを「ON」にしてください。	P10、13
動作せずリモコンからピッピッの連続音がする 動作せずリモコンのランプが点滅する	外来雑音による、誤動作が考えられます。	本体後側の下部にある電源スイッチを「OFF」にし、電源コードの電源プラグを差し直してください。	P10、13
動作が途中で止まる（リモコンを押しても動作しない）	背の部分が壁や障害物に当たっていませんか？	障害物に当たらないように本体を移動させた後に、本体後側の下部にある電源スイッチを「ON」にしてください。	P8、9 P10、13
	無理な力がかかっていませんか？ (安全のため、もみ玉に無理な力がかかると安全装置が働き、全ての機能が停止します。)	一旦背もたれ部から体を離し、本体後側の下部にある電源スイッチを「ON」にし、もう一度初めから操作し直してください。	P10、13
	長時間連続で使用していませんか？	長時間連続で使用するとモーターの温度が上昇し、安全装置が働きます。1 時間程度、本体を停止させてください。	—
リクライニングができない	電源コードの電源プラグが抜けていませんか？	電源コードの電源プラグをコンセントに差し込んでください。	P10、13
	背の部分が壁や障害物に当たっていませんか？	障害物に当たらないように本体を移動してください。	P8、9

お願い 上記の対応を行っても、正常に動作しない、または同じようなことが度々生じる場合には、本体の電源スイッチを「OFF」にし、電源コードの電源プラグをコンセントから抜いたうえで、ご購入先、または当社のお客様相談窓口までお問合せください。

愛情点検

⚠注意

- **しばらく使用していなかった場合、もう一度取扱説明書をよく読み、本品が正常に動作することを確認してから使用する。** 事故やけがのおそれがあります。

愛情点検 長年ご使用の場合は点検をぜひ！	**このような症状はありませんか。** ● こげくさい臭いがする。 ● 電源コード、電源プラグが異常に熱い。 ● コードを動かすと通電したり、しなかったりする。 ● その他の異常がある。	ご使用中止 ⇒	故障や事故防止のため本体の電源スイッチを「OFF」にし、電源コードの電源プラグをコンセントから抜いたうえで、ご購入先、または当社のお客様相談窓口までお問い合わせください。

保証とアフターサービス

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は、まずご購入先にご連絡ください

●保証書（取扱説明書の裏表紙にあります。）

お買い上げの際に保証書をご購入先からお受け取りになり「お買い上げ日」・「ご購入先名」欄の記入をご確認のうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間　**保証書に記載**

●補修用性能部品の保有期間

当社はこのマッサージ器の補修用性能部品を製造打ち切り後、6年間保有しています。

性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

31 ページに従ってしらべていただき、なお異常があるときは、使用を中止してください。電源スイッチを「OFF」にし、電源コードの電源プラグをコンセントから抜いたうえで、ご購入先にご連絡ください。

●保証期間中に修理を依頼される場合

ご購入先にご相談ください。保証書の記載内容に従って修理いたします。

(なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。）

●保証期間を過ぎて修理を依頼される場合

まずご購入先にご相談ください。

修理により、製品機能が維持できる場合には、ご要望に従い有料にて修理いたします。

●その他ご不明な場合

アフターサービスに関するご相談、ならびにご不明な点は、ご購入先、または当社お客様相談窓口までお問い合わせください。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

- 技術料　診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
- 部品代　修理に使用した部品および補助材料代です。
- 出張料　製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

仕様

品名		マッサージチェア
品番		AS-F60
類別		機械器具　77　バイブレーター
一般的名称		家庭用電気マッサージ器 （JMDNコード　34662000）
医療機器認証番号		225AKBZX00056A02
定格	電源（50/60Hz）	AC100V
	定格時間	20 分
	消費電力（50/60Hz）	110W
	電動機消費電力	101W
	電熱器消費電力	9W
メカ（もみ玉）マッサージ 速さ調節範囲	もみ	約 33 回 / 分
	たたき	遅 約 330 回 / 分　速 約 450 回 / 分
	上下移動	約 2.2cm/ 秒
エアーマッサージ空気圧		40 kPa 以下
メカ（もみ玉）マッサージ強さ調節範囲		肩・腰：5 段階調節 背：2 段階調節
エアーマッサージ強さ調節範囲		2 段階調節
肩位置調節		7 段階調節
オートタイマー		約 15 分
リクライニング角度		約 120 度〜約 150 度
寸法	リクライニングしていないとき （脚部収納、肩部を閉じたとき）	幅 約710× 奥行き 約1030× 高さ 約1070mm
	リクライニングしたとき （脚部を出し、肩部を開いたとき）	幅 約880× 奥行き 約1860× 高さ 約800mm
質量		約 63kg
張地		PU レザー
製造元	大東傲勝保健器（蘇州）有限公司　第二工場 DT-OSIM HEALTHCARE APPLIANCES (SUZHOU) CO.,LTD./(CHINA)	
	安吉特克能電器有限公司 ANJI TECHNO ELECTRIC CO.,LTD./(CHINA)	
製造販売元	株式会社フジ医療器　大阪府南河内郡太子町太子 2372-95	

MEMO

MEMO

FUJIIRYōKI

マッサージチェア　保証書

商品名	マッサージチェア AS-F60	製造番号	
保証期間	お買い上げの日から１年間	保証対象	本　体（但し、消耗品は除く）
ご購入者 フリガナ		お買い上げ日	年　月　日
ご購入者 ご芳名	様	ご購入先	
ご購入者 ご住所	〒 電話（　）	ご購入先	電話（　）

【無料修理規定】

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
   ㋑ 無料修理をご依頼になる場合には、ご購入先にお申しつけください。
   ㋺ ご購入先に無料修理をご依頼になれない場合には、取扱説明書に記載しておりますお客様相談窓口にご相談ください。
   ㋩ この商品は出張修理をさせていただきますので、修理に際して本書をご呈示ください。
2. ご転居の場合、修理のご依頼先等は、ご購入先または取扱説明書に記載しておりますお客様相談窓口にご相談ください。
3. ご贈答品等で本保証書に記入してあるご購入先に修理がご依頼できない場合には、取扱説明書に記載しておりますお客様相談窓口にご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   ㋑ 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
   ㋺ お買い上げ後の落下等による故障及び損傷
   ㋩ 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷
   ㋥ 一般家庭用以外（例えば業務用など）に使用された場合の故障及び損傷
   ㋭ 本書の呈示がない場合
   ㋬ 本書にお買い上げ年月日、ご購入者名、ご購入先の記入のない場合、或いは字句を書き替えられた場合
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行しませんので紛失しないように大切に保管してください。

年	月	日	修理内容及び使用部品	担当者

※ お客様にご記入いただいた保証書の内容は保証期間内のサービス活動及びその後の点検活動のため記載内容を利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。

※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※ 保証期間経過後の修理または補修用性能部品の保有期間について、詳しくは取扱説明書をご覧ください。

美と健康の総合メーカー
株式会社フジ医療器
〒540-0011 大阪市中央区農人橋1丁目1-22 大江ビル14階
お客様相談窓口　フリーダイヤル 0120-027-612

お客様相談窓口のご案内

修理･お手入れ･お取り扱いなどのご相談は、まずご購入先へご連絡ください。

0120 フリーダイヤル
0120-027-612

受付：月曜～金曜　午前9時～午後5時30分
※但し、土日祝日、年末年始は休ませていただきます。

FAX･E-mail での受付けも行なっております。

FAX番号　06-4793-0818

E-mail　フジ医療器ホームページのお問い合わせフォームにて受付けております。
フジ医療器ホームページ　http://www.fujiiryoki.co.jp

FAX･E-mailでの受付けは24時間行っておりますが、お客様へのご連絡はフリーダイヤルの受付時間となります。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱いについて
株式会社フジ医療器は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー･ディスプレイを採用しています。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

美と健康の総合メーカー
株式会社フジ医療器
〒540-0011 大阪市中央区農人橋1丁目1-22 大江ビル14階

お客様へ…ご購入年月日・ご購入店名を記入されると便利です。

ご購入年月日	年　月　日
ご購入店名	TEL

2014年2月5日(第3版)